

PHAYAOLレポート 2006-01 (060502~060518)

“トイレ改修 完了” 「シャンティ学生寮」 2年越しの懸案

施工実績第3号目の「NCP システム」が完成しました。

昨年の異常気象の降雨に阻まれ地下水の上昇から、シャンティ寮の作業を断念し、セーンサイ村の民家の協力を得て、モデルシステム第1号を施工しました。(2005/10月)

その後の稼働も極めて順調で、処理水で育った野菜が、ひときわおいしく、村での評判は、他の村にも、たちまちのうちに広がり、システムへの関心も急速に高まり普及の兆しが見えてきました。

「自然循環浄化処理」で育った「恵み」！！



2006年3月（2回目の収穫前）



2006年5月（3回目の栽培中）



第1号処理槽の状況（左奥は、旧便所）



旧便所・・・その後・・・ショウガの貯蔵庫に再利用

～ほった！ほった！！6つの穴！！！！！！～

～寮生たちが 造った！！～

さて、今回は、第1号とは、条件が全く違い、既設の改修のため、方式に苦慮し、各工程で様々な工夫を余儀なくされましたが、寮生の手作業と知恵により、短期間で予想を遙か超えた、素晴らしいシステムを完成することができました。

“みんな ありがとう” (トットコン コックン クラップ)

その概要をご覧ください。



女子寮の穴掘り 既設の改修のため2,6m 掘った。(新設だと1.8m)最悪の水が湧いた！



既設タンクの掘り出し (工法思案)



タンク設置



新工法



土壌処理部設置



完成 (側面から見る)



完成 (手前土壌処理部)

男子寮



ほった！ ほった！



既設のつなぎ込み



中継タンク



新設タンク



生物処理槽と土壌処理部



できた！ できた！



手前は、土壌処理部

既設を撤去することなく、工夫により、さらに能力を発揮するシステムが完成した。
既設の制約により初めてのアイデアが、どのように生きるか、通常では、難しい平地での設置、困難を極めただけに経過が楽しみです。
あと、畝に野菜の種を蒔く、作物の成育が、できればを評価してくれます。

「自然循環式農業利用浄化装置」とは、
“地球に優しいトイレ”です。

無放流だから川や、湖の汚染がない！

嫌気処理だから、汲み取りしない薬注しない・きれい！

残留窒素・燐は、土壌を介して植物に吸収・農業に利用！

「地域の衛生環境に沿った シャンティ山口の アイディアです。」